

東京都立世田谷泉 高等学校 令和7年度 教科： 家庭 科目： 家庭基礎

教科： 家庭 科目： 家庭基礎 単位数： 2 単位

対象年次・講座： 2～4 年次 ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫

教科担当者： ①谷口としえ ②④三宅 忍 ③⑥⑦座喜味 ⑤秋田 陽子 ⑧⑩奈良 智子⑨松山 葵 ⑪大田礼子 ⑫坂根睦恵

使用教科書： (第一学習社「高等学校家庭基礎」)

- 教科 家庭 の目標：
- 【知識及び技能】 人間の発達と生活の営みを総合的に捉え、生活を主体的に営むために必要な内容を理解し、技能を身に付ける。
 - 【思考力、判断力、表現力等】 生活の中から問題点を見いだして課題を設定し、解決策・実践・考察を経てその課題を解決する力を養う。
 - 【学びに向かう力、人間性等】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

科目 家庭基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な知識と、それらに係る技能を身に付ける。	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど生涯を見通して課題を解決する力を身に付ける。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を身に付ける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
前期	・ライフイベントや人生の転機、あるいは家族の変化や社会変動などによって生じる課題を乗り越える際に、誰もが同じような方法や選択で達成するのではなく、その時の身近な他者や社会とのかかわりを通して一人一人が異なる過程をたどり、様々な生き方があることを理解する。	1章 これからの生き方と家族 1節 生涯の生活設計 ①生涯発達する自分 ②青年期を生きる ③キャリアの形成 ④ワーク・ライフ・バランスを求めて 2節 家族家庭と社会とのかかわり ①家族家庭世帯 ②家族家庭の働き ③パートナーと出会う ④結婚と変化する家族 ⑤家族に関する法律	【知識及び技能】 ・人生には「ライフステージ」ごとに課題があることを理解し、その課題に取り組むための知識を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・人の価値観、生活感はさまざまであり、生き方も人によって異なるという考えに立って世代や文化の違いを超えて人の立場や気持ちを理解できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・多様な家族への支援の充実が求められていることについて関心を持ち、問題解決をはかろうとする意欲が見られる。	○	○	○	6
	・子どもはこれからの社会を築いていくという視点から、子どもを産み育てることの意義や地域の一員として子どもの成長に関わることの意味について考えることができる。 ・乳幼児の身体の発達や運動機能などの発達の概要を理解する。	2章 次世代をはぐくむ 1節 子どもの発達 ①次世代をはぐくむ ②命のはじまり ③乳幼児の体の発達 ④乳幼児の心の発達 2節 子どもの生活 ①親と子のかかわり ②乳幼児の生活と安全 ③子どもの成長と遊び ④子育て支援と福祉 ①地域社会と子育て支援 ②未来を担う子どもの権利	【知識及び技能】 ・乳幼児期での運動機能面、認知、情緒、言語面の著しい発達を踏まえ、それぞれの発達過程を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・子どもを産み育てることの意義について理解し、子育てにおいて何が大切であるかを判断できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・子どもの身体と心の発達に関心を持ち、その特徴を把握することに意欲が見られる。 ・日常生活の中で、子どもとどう接していけばよいかということに関心を持ち、積極的に取り組もうとしている。	○	○	○	15
	・長くなった人生を可能な限り充実させるには何が必要で、自分たちはどう老いていきたいかを考える。 ・高齢者の身体的特徴と心理的特徴の概要について理解する。 ・社会的制度、社会福祉の基本的な理念、ともに支えあっている社会の考え方について理解する。 ・食事の役割を認識し食が心身を育む上で大切なものであることを理解する。 ・現代の食生活の実情を知り、健康で安全な食生活を営むための基本を理解する。	3章 充実した生涯へ ①超高齢社会を生きる ②人生のなかで高齢期をとらえる ③高齢期の生活 ④高齢社会を支える ⑤充実した高齢期へ 4章 ともに生きる ①社会保障制度と社会的連帯 ②人の多様性と社会参加 5章 食生活をつくる 1節 人の一生と食事 ①私たちが食事②健康に配慮した食生活 ③食生活の変化 ④持続可能な食生活	【知識及び技能】 ・高齢者の身体的・心理的機能の特徴を理解している。 ・高齢者の生活実態を把握し、課題解決のため年金制度などについての基本的知識を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・高齢化が進んでいる実態を把握し、その原因と課題を探り、超高齢社会のあるべき姿を考え、発表することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・高齢者の生活に関心を持ち、高齢化を自分自身の問題としてとらえ、意欲的に取り組む態度が見られる。	○	○	○	18
後期	・健康な生活を送るうえで必要な栄養素とその主な働きについて理解する。 ・各食品の保存方法を理解する。 ・消費期限、賞味期限をもとに食品を正しく選ぶ力を養う。 ・主菜と主食をまとめてとれ、ご飯を主体とした単品料理の作り方を身につける。	2節 栄養と食品 ①人体と栄養 ②炭水化物 ③脂質 ④たんぱく質 ⑤無機質(ミネラル) ⑥ビタミン ⑦嗜好食品と健康増進のための食品 3節 食生活の安全のために ①食品の選択と保存 ②食品の安全と衛生 4節 食生活をデザインする ①栄養バランスのよい食事 ②食品群と摂取量のめやす ③ライフステージと食事 ④献立作成の手順 ⑤調理の基本調理実習	【知識及び技能】 ・食生活に必要な基本的な知識を身につけている。 ・献立作成や調理の基本を身につけ、食生活の充実向上のための基本的技能を発揮することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分の食生活を振り返り、課題を見出し、見直しをはかることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・栄養素の種類や働き、食品の正しい選択を理解した上で食生活に応用しようとする意欲が見られる。 ・自分で献立作成、調理ができること、それを家族や知人のために役立てることに関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	12
	・被服の持つ機能を生かし、望ましい着装について考える。 ・洗濯方法の特性を理解し、品質に応じて洗濯することを学習する。 ・衣生活の面からできる環境に負荷を与えない行動を考え、実践する。	6章 衣生活をつくる 1節 人の一生と被服 ①私たちが衣生活 ②被服の機能 ③被服の選び方 2節 被服材料と管理 ①被服の素材 ②洗濯方法と表示 ③洗濯のしくみ④被服の手入れと保管	【知識及び技能】 ・衣生活の充実、向上のための基礎的基本的な知識を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・これまでの被服の洗濯を振り返り、よりよい洗濯の方法について考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】				

	<p>3節 これからの衣生活</p> <p>①衣文化の継承と創造</p> <p>②持続可能な衣生活</p>	<p>・環境に影響をおよぼしにくい洗濯方法について考え、取り組んでいる。</p>	○	○	○	12
<p>・安心して住めるよりよい住環境を整備するために、どのような工夫が必要か考える。</p> <p>・自然災害や人的災害への対策、家庭内事故防止の安全対策について、具体的にどのような対策が必要か考える。</p> <p>・消費者として責任ある消費行動を取っていかうという態度を養う。</p> <p>・持続可能な社会の実現のために、環境にやさしい消費行動を具体的に考える。</p>	<p>7章 住生活をつくる</p> <p>1節 人の一生と住まい</p> <p>①私たちと住まい②平面図の活用</p> <p>③長く住み続けるために</p> <p>2節 住生活の計画と選択</p> <p>①快適で健康な住まい</p> <p>②安全で安心な住まい</p> <p>③持続可能な住まい</p> <p>④住まいと地域社会のかかわり</p> <p>8章 経済生活をつくる</p> <p>1節 私たちの暮らしと経済</p> <p>①人生とお金②収入と支出のバランス</p> <p>③将来の経済生活を考える</p> <p>2節 消費者問題を考える</p> <p>①契約②消費者問題はなぜ起こる</p> <p>③多様化する支払い方法とリスク防止</p> <p>④消費者の自立と行政の支援</p> <p>3節 持続可能な社会をめざして</p> <p>①消費生活と持続可能な社会</p> <p>②消費者市民社会をめざして</p>	<p>【知識及び技能】</p> <p>・住まいの機能、健康に配慮した室内環境づくり、衛生管理に関する基礎的知識、基本的技能を身につけている</p> <p>・消費者としての必要な知識を身につけている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>・災害対策及び家庭内事故の安全管理のために必要な住まいの条件について思考、判断できる。</p> <p>・問題商法によるトラブルの原因を探り、解決策を見いだすことができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>・自宅の家具配置の改善や住まいの維持管理の対策を講じることに意欲が見られる。</p> <p>・環境にやさしいエンシカル消費を実践する態度を身につけている。</p>	○	○	○	15
						合計
						78

東京都立世田谷泉 高等学校 令和7年度 教科： 家庭 科目： 保育

教科： 家庭 科目： 保育 単位数： 2 単位

対象年次・講座： 2,3,4 年次 ① ② ③ ④

教科担当者： ①成岡 美和 ②座喜味 成子 ③保坂 睦恵 ④

使用教科書： (保育基礎 ようこそ、ともに育ち合う保育の世界へ (教育図書))

教科 家庭 の目標：

- 【知識及び技能】 人間の発達と生活の営みを総合的に捉え、生活を主体的に営むために必要な内容を理解し、技能を身に付ける。
- 【思考力、判断力、表現力等】 生活の中から問題点を見いだして課題を設定し、解決策・実践・考察を経てその課題を解決する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

科目 保育 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
保育の意義や方法、子どもの発達や生活の特徴及び子供の福祉と文化などについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	子どもを取り巻く課題を発見し、保育を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	子どもの健やかな発達を目指して学び、保育に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
前期	子どもの保育 【知識及び技能】 ・保育環境の特徴や役割を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・現代の子どもや子育てで家庭を取り巻く環境の問題、多様な保育のニーズに関する課題を知り、子どもの健やかな発達のための適切な保育環境について考える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・子どもの健やかな発達のために、保育者として適切な保育環境をどのように創意工夫していくべきか考える。 ・子どもの心身の状態や発達に応じた保育の方法とその環境について課題を発見し、その解決に向けて考察し、工夫する。	・指導事項 ・教材 教科書、プリント、 保育人形等 ・一人1台端末の活用 意見交換と情報共有 動画視聴 副教材(デジタル教材)の使用	【知識・技能】 ・家庭での養育と集団保育の役割を理解している。 ・家庭での子育ての現状と課題、国の子育て支援の内容などについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・現在の子育てで家庭が集団保育に求めていることについて、子育て環境の変化などと関連させながら具体的に考察することができる。 ・子どもの心身の安定を図るために、保育者としての月齢・年齢に応じた適切なかわり方を具体的に考え、意見をまとめたり発表したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・保育者として、子どもにとって適切な保育を行うためにかかわり方を工夫するなど、積極的に取り組む姿勢が見られる。	○	○	○	10
	子どもの発達 【知識及び技能】 ・乳幼児期の生理的特徴について理解する。 ・乳児期・幼児期における感覚・運動機能、情緒、認知機能、言語、社会性の発達の特徴について理解する。 ・子どもと大人ではものとのらえ方に違いがあることを知る。 ・愛着関係の形成過程を学び、その重要性を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・安全基地としての親の重要性について理解する。また、家族・きょうだい・友達などの対人関係と社会性の発達について考える。 ・乳幼児期の子どもの健全な心身の発達について課題を発見し、その解決に向けて考察し、工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・子どもの発達の個人差に配慮しながら、心身の発達を促すために保育者としてどのように接するとよいか考える。	・指導事項 乳幼児期の発育 乳幼児期の生理的特徴 乳幼児期の発達の特徴 保育の課題 ・教材 教科書、プリント、 保育人形等 ・一人1台端末の活用 意見交換と情報共有 動画視聴 副教材(デジタル教材)の使用	【知識・技能】 ・乳幼児の発育や生理的特徴が大人とは大きく異なることを理解している。 ・発達の各側面における過程を理解している。 ・発達の過程で子どもができるようになることを、月齢や年齢に応じて挙げることができる。 ・情緒や社会性といった心の発達に関して、親や保育者との愛着形成が重要であることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・月齢・年齢ごとの子どもの心身の発達の様子を理解した上で、子どもの個人差を考慮した適切なかわり方を考察し、具体的に提案することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・保育者として、子どもの心身の発達を促し、子どもの気持ちに寄り添うにはどうかかわるべきかなど、主体的に捉えようとしている。	○	○	○	18
	子どもの表現活動と保育技術 【知識及び技能】 ・子どもの表現活動についての理解を深め、適切にかかわるための技術を身につける。 ・子どもの看護についての理解を深め、健康・安全を守るための技術を身につける。	・指導事項 造形表現技術 言語表現技術 音楽表現技術 家庭看護技術 ・教材 教科書、プリント、折り紙 保育人形、絵本等 ・一人1台端末の活用 意見交換と情報共有 動画視聴 副教材(デジタル教材)の使用	【知識・技能】 ・表現活動について、保育者として適切にかかわるための基礎的な技術を身につけている。 ・看護について、保育者として適切にかかわるための基礎的な技術を身につけている。 【思考・判断・表現】 ・表現活動において、子どもの意欲を引き出すために保育者はどのようにかかわるとよいか、自分の考えをまとめたり発表したりすることができる。 ・看護において、子どもの安全や心の状態に十分配慮し、かわり方を工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・保育の技術に関心をもち、将来の職業を見据えながら、子どもの表現活動や健康・安全などについての理解を深めようとしている。	○	○	○	12
	子どもの生活 【知識及び技能】 ・養護の必要性・目的を理解し、発達の段階に応じた適切な養護の方法を知る。 ・子どもを安全に養護するためのポイントや、注意点について知る。 【思考力、判断力、表現力等】 ・生活習慣を題材にした絵本などから、	・指導事項 子どもの健康と生活 子どもの食事 子どもの衣類と寝具 子どもの健康と安全 ・教材 教科書、プリント、保育人形、	【知識・技能】 ・子どもの養護の必要性について理解し、その発達段階に応じた適切な養護や生活援助のための技術を身につけている。 ・子どもの日常生活における世話の仕方とその役割について理解している。 【思考・判断・表現】 ・子どもに起こりうる事故について、子どもの発				

後期	生活習慣の習得を促すにはどのような工夫が必要かを考える。・子どもの健康と安全について課題を発見し、その解決に向けて考察し、工夫する。	ベビー服、離乳食、寝具等 ・一人1台端末の活用 意見交換と情報共有 動画視聴 副教材（デジタル教材）の使用	達過程や生活の特徴を踏まえながら考察し、子どもを危険から守るための具体的な方策を提案することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・子どもの食生活や衣生活等に関心を持ち、主体的に情報を収集しようとしたり、積極的に実習に参加したりしている。	○	○	○	20
	子どもの文化 【知識及び技能】 ・子どもの文化やそれを支える場が、子どもの健康で豊かな生活の実現のために果たす役割や意義、および近年の環境変化と課題について理解する。 ・子どもの健やかな発達における遊びの重要性や意義を、おもちゃづくりなどの活動を通じて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・子どもの遊びについての課題を発見し、その解決に向けて考察し、工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・年齢に応じた子どもの発達を促すことに適した、具体的な遊び方を提案する。	・指導事項 子どもの文化の意義 子どもの文化を支える場 子どもと遊び ・教材 教科書、プリント、玩具 文房具等 ・一人1台端末の活用 意見交換と情報共有 動画視聴 副教材（デジタル教材）の使用	【知識・技能】 ・子どもの文化やそれを支える場の役割や意義を理解している。 ・子どもの健やかな発達が遊びによってもたらされることを理解している。 ・おもちゃ作りなどの活動を通して、子どもの遊びの特徴や、保育者としての適切なかかわり方を捉えている。 【思考・判断・表現】 ・おもちゃづくりなどの活動を通して、子どもが楽しく安全に遊ぶことができるように工夫することができる。 ・現代の子どもの遊びを取り巻く現状を理解し、課題について考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・身近な地域の遊びについて関心を持ち、公園などの利用状況や、遊び場を支えるNPO法人などの活動について積極的に調べようとしている。	○	○	○	18
							合計 78

東京都立世田谷泉 高等学校 令和7年度 教科： 家庭 科目： 被服

教科： 家庭 科目： 被服 単位数： 2 単位

対象年次・講座： 2～4 年次 ① ② ③

教科担当者： ①秋田陽子 ②矢野祐子 ③松山葵 ④

使用教科書： (なし)

教科 家庭 の目標：

- 【知識及び技能】 人間の発達と生活の営みを総合的に捉え、生活を主体的に営むために必要な内容を理解し、技能を身に付ける。
- 【思考力、判断力、表現力等】 生活の中から問題点を見いだして課題を設定し、解決策・実践・考察を経てその課題を解決する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

科目 被服 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・ミシンやアイロンの準備、設定が一人で正しくでき、安全に使用できる。 ・手縫いの正しい方法を理解し、待ち針や裁ちばさみなどの裁縫道具を使って、基礎縫いや玉止めができる。	・課題を理解し自分で取り組むことができる。 ・実習に取り組む中で、正しい方法を身につけ、技能を再現し、応用することができる。 ・作品のプレゼンテーションで、自分の考えや体験を発表できる。	・持ち物や身支度など、授業に必要な準備を整えて、授業に参加できる。 ・分からないことは自分から質問をして、積極的に取り組もうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
前期	1. 手縫いとミシン縫いの基礎を正しく理解して、基礎縫いを行うことができる。	①手縫い 玉結び 玉止め なみ縫い 本返し縫い まつり縫い ②ミシン縫い 下糸をボビンに巻く 直線縫い 返し縫い 端ミシン	【知識及び技能】 ・手縫いとミシン縫いの違いを理解しており、各々の正しい縫い方ができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・用途に応じた縫い方の方法を理解している。 ・授業記録（振り返りプリント）に、自分の気づきを具体的に記録できている。 【学びに向かう力】 ・授業記録（振り返りプリント）に、次回に向けての取り組みを具体的に記入できている。 ・分からないことを自ら質問して、理解しようと取り組んでいる。	○	○	○	10
	2. 甚平の製作（下衣） 手縫いとミシンを使って、下衣（パンツ）を縫うことができる。	①生地にアイロンをかける ②生地を切る ③縫い代の始末（ロックミシン） ④ポケット縫う ⑤ウエストの三つ折り ⑥裾の三つ折り ⑦股下にしつけをする ⑧股下を縫う ⑨裾を縫う ⑩股上を縫う ⑪ウエストを縫う ⑫ゴムを通す ⑬アイロンをかける ⑭下衣（パンツ）の完成 作品を提出する	【知識及び技能】 ・生地を適切に切り取ることができる。 ・縫う箇所に応じて、適切に手縫いとミシン縫いができる。 ・アイロンを安全に正しく使うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・用途に応じた縫い方の方法を理解している。 ・授業記録（振り返りプリント）に、自分の気づきを具体的に記録できている。 【学びに向かう力】 ・授業記録（振り返りプリント）に、次回に向けての取り組みを具体的に記入できている。 ・分からないことを自ら質問して、理解しようと取り組んでいる。	○	○	○	16
	3. 甚平の製作（上衣） 手縫いとミシンを使って、上衣を縫い始めることができる。	①生地にアイロンをかける ②生地を切る ③縫い代を始末（ロックミシン） ④ポケットを縫う ⑤背縫い ⑥裾を縫う	【知識及び技能】 ・生地を適切に切り取ることができる。 ・縫う箇所に応じて、適切に手縫いとミシン縫いができる。 ・アイロンを安全に正しく使うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・用途に応じた縫い方の方法を理解している。 ・授業記録（振り返りプリント）に、自分の気づきを具体的に記録できている。 【学びに向かう力】 ・授業記録（振り返りプリント）に、次回に向けての取り組みを具体的に記入できている。 ・分からないことを自ら質問して、理解しようと取り組んでいる。	○	○	○	15
後期	4. 甚平の製作（上衣） 手縫いとミシンを使って、上衣を縫い進めることができる。	⑦襟下を縫う ⑧襟付け ⑨襟付けの裏側をくけ縫いする	【知識及び技能】 ・縫う箇所に応じて、適切に手縫いとミシン縫いができる。 ・アイロンを安全に正しく使うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・用途に応じた縫い方の方法を理解している。 ・授業記録（振り返りプリント）に、自分の気づきを具体的に記録できている。 【学びに向かう力】 ・授業記録（振り返りプリント）に、次回に向けての取り組みを具体的に記入できている。 ・分からないことを自ら質問して、理解しようと取り組んでいる。	○	○	○	17
	5. 甚平の製作（上衣） 手縫いとミシンを使って、上衣を縫い終えることができる。	⑩袖口を縫う ⑪脇を縫う ⑫袖下を縫う ⑬紐を作る ⑭紐を縫い付ける ⑮アイロンをかける ⑯上衣の完成 作品を提出する	【知識及び技能】 ・縫う箇所に応じて、適切に手縫いとミシン縫いができる。 ・アイロンを安全に正しく使うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・用途に応じた縫い方の方法を理解している。 ・授業記録（振り返りプリント）に、自分の気づきを具体的に記録できている。 【学びに向かう力】 ・授業記録（振り返りプリント）に、次回に向けての取り組みを具体的に記入できている。 ・分からないことを自ら質問して、理解しようと取り組んでいる。	○	○	○	15

<p>6. 巾着袋の製作</p>	<p>①生地アイロンをかける ②生地を切る ③縫い代の始末をする ④脇を縫う ⑤入れ口の三つ折り ⑥紐を通す ⑦アイロンをかける ⑧巾着袋の完成 作品を提出する</p> <p>◆プレゼンテーション 自分の作品について、発表する。 制作過程で気づいたこと、学んだこと、製作で気を付けたことなど。</p>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生地を適切に切り取ることができる。 縫う箇所に応じて、適切に手縫いとミシン縫いができる。 アイロンを安全に正しく使うことができる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 用途に応じた縫い方の方法を理解している。 授業記録（振り返りプリント）に、自分の気づきを具体的に記録できている。 プレゼンテーションで、製作実習を通して学んだこと、気づいたことを発表することができる。 <p>【学びに向かう力】</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業記録（振り返りプリント）に、次回に向けての取り組みを具体的に記入できている 分からないことを自ら質問して、理解しようと取り組んでいる。 	○	○	○	5
						合計
						78

東京都立世田谷泉 高等学校 令和7年度 教科： 家庭 科目： 手芸

教科： 家庭 科目： 手芸 単位数： 2 単位

対象年次・講座： 2~4 年次 ① ② ③

教科担当者： ①秋田陽子 ②松山葵 ③太田礼子

使用教科書： (なし)

教科 家庭 の目標：

- 【知識及び技能】 人間の発達と生活の営みを総合的に捉え、生活を主体的に営むために必要な内容を理解し、技能を身に付ける。
- 【思考力、判断力、表現力等】 生活の中から問題点を見いだして課題を設定し、解決策・実践・考察を経てその課題を解決する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

科目 手芸 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
手芸や洋裁の基礎、材料の取り扱いに関する知識と技術を習得し、簡単な手芸品を製作することができる。	各種手芸の技法を理解し、その特性を生かした手芸作品を創造的に製作し、計画的に製作をすすめることができる。	習得した技術を応用し、各自の生活で活用できる小物について考察することができる。また、服飾及び日常生活に活用することができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
前期	1. スウェーデンししゅうのコースター製作	<p>【指導事項】 コースター製作</p> <p>スウェーデンししゅうの特徴を生かしたデザイン、ししゅう、コースターに仕上げる。</p> <p>【一人1台端末の活用】 スウェーデンししゅうの作品例やスウェーデンししゅうの特性や特徴を調べる。</p>	<p>【知識・技能】 スウェーデンししゅうの特徴や技法、ししゅう糸の扱い方、織目の教え方などを理解している。糸のつれやゆるみがないか。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 スウェーデンししゅうの特徴を生かし、ししゅう糸の色やステッチの組み合わせられる。計画的に製作を進める。</p> <p>【学びに向かう力・人間性等】 スウェーデンししゅうの特性に合わせた表現の工夫をし、製作に生かしている。授業記録に学習の振り返りと今後の課題などが明記できている。自己の学習に対して定着の確認と今後の課題の把握がなされている。</p>	○	○	○	16
	2. 刺し子 花ふきん製作	<p>【指導事項】 刺し子 花ふきん</p> <p>布にプリントされた印の通りに縫い進める。糸のしごき方、縫う順番を理解する。お弁当包みに仕上げる。</p> <p>【一人1台端末の活用】 刺し子の作品例や刺し子の特性や特徴を調べる。</p>	<p>【知識・技能】 刺し子の歴史、刺し子の縫い方を理解する。糸のしごきを大切に、糸のつれやゆるみがないか。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 縫う順番を考え、計画的に製作を進める。</p> <p>【学びに向かう力・人間性等】 授業記録に学習の振り返りと今後の課題などが明記できている。自己の学習に対して定着の確認と今後の課題の把握がなされている。</p>	○	○	○	20
	3. 絞り染めのエコバック製作	<p>【指導事項】 絞り染めのエコバック製作</p> <p>絞り方による染め上がりの違いを想像し、絞り染めの特徴を生かしたデザインを考える。</p> <p>【一人1台端末の活用】 絞り染めの作品例や絞り染めの特性や特徴を調べる。</p>	<p>【知識・技能】 絞り染めの主な種類と技法を理解している。糸をしっかり引き締め止めることができる。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 染め上がりを想像し、絞り染めの特徴を生かしたデザインになっている。計画的に製作を進める。</p> <p>【学びに向かう力・人間性等】 授業記録に学習の振り返りと今後の課題などが明記できている。自己の学習に対して定着の確認と今後の課題の把握がなされている。</p>	○	○	○	12
	4. 羊毛ししゅうの壁飾り製作	<p>【指導事項】 壁飾り製作</p> <p>羊毛ししゅうの特徴を生かしたデザインを考え、額縁に飾り、仕上げる。</p> <p>【一人1台端末の活用】 羊毛ししゅうの作品例やニードルの使い方を調べる。</p>	<p>【知識・技能】 羊毛ししゅうの特徴や技法、羊毛やニードルの扱い方などを理解している。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 羊毛ししゅうの特徴を生かしたデザインになっている。計画的に製作を進める。</p> <p>【学びに向かう力・人間性等】 授業記録に学習の振り返りと今後の課題などが明記できている。自己の学習に対して定着の確認と今後の課題の把握</p>	○	○	○	14

後期	夫。計画的に製作を進める。 【学びに向かう力、人間性等】準備、片づけをすすんで行き、道具や教室の整備を行うことができる。授業を振り返り、課題と成果を見つける。		がなされている。	○	○	○	○
	5. 手縫いによるファスナーポーチ製作 【知識及び技能】基本的な手縫いの技術(なみ縫い、まつり縫い、半返し縫い)を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】平面から立体になる過程を理解し、計画的に製作を進める。 【学びに向かう力、人間性等】準備、片づけをすすんで行き、道具や教室の整備を行うことができる。授業を振り返り、課題と成果を見つける。	【指導事項】ファスナーポーチ製作 基本的な手縫いの種類やそれぞれの縫い方、縫い上がりの特徴を理解する。日常生活のどの場面で活用できるか考える。 【一人1台端末の活用】 手縫いのそれぞれの縫い方を動画で見ることによって理解を深める。	【知識・技能】絞り染めの主な種類と技法を理解している。糸をしっかり引き締め止めることができる。 【思考力・判断力・表現力等】染め上りを想像し、絞り染めの特徴を生かしたデザインになっている。計画的に製作を進める。 【学びに向かう力・人間性等】授業記録に学習の振り返りと今後の課題などが明記できている。自己の学習に対して定着の確認と今後の課題の把握がなされている。	○	○	○	16
							合計
							78

東京都立世田谷泉 高等学校 令和7年度 教科：

家庭 科目： 食物 I

教科： 家庭

科目： 食物 I

単位数： 2 単位

対象年次・講座： 2～4 年次 ① ② ③

教科担当者： ①松山 葵 ②奈良 智子 ③保坂 睦恵 ④

使用教科書： ()

教科 家庭 の目標：

- 【知識及び技能】 人間の発達と生活の営みを総合的に捉え、生活を主体的に営むために必要な内容を理解し、技能を身に付ける。
- 【思考力、判断力、表現力等】 生活の中から問題点を見いだして課題を設定し、解決策・実践・考察を経てその課題を解決する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

科目 食物 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付ける。	食生活の中から問題点を見いだして課題を設定し、解決策・実践・考察を経てその課題を解決する力を養う。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて授業で身に付けたことを実生活で生かそうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
前期	(1) 調理の基礎 ・計量の仕方 ・野菜の切り方 ・安全に気を付けて包丁を扱う ・いろいろな切り方を知り、実践できる	・オリエンテーション ・調理実習 ・実技テスト ・振り返りテスト	【知識及び技能】 ・調理器具の使い方や、調理方法を理解して取り組むことができる。食品の特性を考慮して扱い調理することができる。安全に気を付けて調理を行うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・効率よく調理を勧められるよう、時間配分や調理器具の扱いを工夫することができる。食に関する諸課題について総合的に捉え、判断、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・持ち物や身支度など授業に必要な準備を整え、授業に参加して話を聞き、積極的に取り組もうとしている。学習したことを実生活で生かそうとしている。	○	○	○	13
	(2) 簡単な日常食の調理 ・食品の特性を考慮して調理することができる	・調理実習 ・調べ学習 ・振り返りテスト	【知識及び技能】 ・調理器具の使い方や、調理方法を理解して取り組むことができる。食品の特性を考慮して扱い調理することができる。安全に気を付けて調理を行うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・効率よく調理を勧められるよう、時間配分や調理器具の扱いを工夫することができる。食に関する諸課題について総合的に捉え、判断、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・持ち物や身支度など授業に必要な準備を整え、授業に参加して話を聞き、積極的に取り組もうとしている。学習したことを実生活で生かそうとしている。	○	○	○	18
	(3) 簡単なお菓子の調理 ・食品の特性を考慮して調理することができる	・調理実習 ・調べ学習	【知識及び技能】 ・調理器具の使い方や、調理方法を理解して取り組むことができる。食品の特性を考慮して扱い調理することができる。安全に気を付けて調理を行うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・効率よく調理を勧められるよう、時間配分や調理器具の扱いを工夫することができる。食に関する諸課題について総合的に捉え、判断、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・持ち物や身支度など授業に必要な準備を整え、授業に参加して話を聞き、積極的に取り組もうとしている。学習したことを実生活で生かそうとしている。	○	○	○	8
後期	(4) 食品の選び方 食中毒の予防 テーブルマナー	・講義 ・調べ学習 ・マナー練習 ・振り返りテスト	【知識及び技能】 ・食品表示をもとに食品を正しく選ぶことができる。 ・食中毒の種類や予防の3原則を理解し、食品や調理器具を衛生的に扱うことができる。 ・テーブルマナーの基本を知り、実践できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・食品表示を読み取り、使用目的に合った食品選択ができる。 ・食材の特徴を知り、切る順序等を考えて、衛生的に調理ができる。 ・場面や料理の種類に合った食事のマナーを心得て食事ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・持ち物や身支度など授業に必要な準備を整え、授業に参加して話を聞き、積極的に取り組もうとしている。学習したことを実生活で生かそうとしている。	○	○	○	10
	(5) 日常食の調理 弁当作り	・調理実習 ・献立作成	【知識及び技能】 ・調理器具の使い方や、調理方法を理解して弁当作りに取り組むことができる。食品の特性を考慮して扱い調理することができる。安全に気を付けて調理を行うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・効率よく調理を勧められるよう、時間配分や調理器具の扱いを工夫することができる。食品の保存性などを踏まえて、弁当の献立作成ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・持ち物や身支度など授業に必要な準備を整え、授業に参加して話を聞き、積極的に取り組もうとしている。学習したことを実生活で生かそうとしている。	○	○	○	10

<p>(6) 日常食の調理 ・調理検定3級程度の調理ができる</p>	<p>・調理実習 ・実技テスト ・振り返りテスト</p>	<p>【知識及び技能】 ・調理器具の使い方や、調理方法を理解して1人で調理に取り組むことができる。食品の特性を考慮して扱い調理することができる。安全に気を付けて調理を行うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・効率よく調理を勧められるよう、時間配分や調理器具の扱いを工夫することができる。食に関する諸課題について総合的に捉え、判断、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・持ち物や身支度など授業に必要な準備を整え、授業に参加して話を聞き、積極的に取り組もうとしている。学習したことを実生活で生かそうとしている。</p>	○	○	○	19
						合計
						78

東京都立世田谷泉 高等学校 令和7年度 教科： 家庭 科目： 食物Ⅱ

教科： 家庭 科目： 食物Ⅱ 単位数： 2 単位

対象年次・講座： 2 年次 ① ③

教科担当者： ①谷口としえ ③矢野裕子

使用教科書： (なし)

- 教科 家庭 の目標：
- 【知識及び技能】 人間の発達と生活の営みを総合的に捉え、生活を主体的に営むために必要な内容を理解し、技能を身に付ける。
 - 【思考力、判断力、表現力等】 生活の中から問題点を見いだして課題を設定し、解決策・実践・考察を経てその課題を解決する力を養う。
 - 【学びに向かう力、人間性等】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

科目 食物Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
食調理器具の使い方や、調理方法を理解して取り組むことができる。食品の特性を考慮して扱い調理することができる。安全に気を付けて調理を行うことができる。	効率よく調理を勧められるよう、時間配分や調理器具の扱いを工夫することができる。食に関する諸課題について総合的に捉え、判断、表現することができる。	持ち物や身支度など授業に必要な準備を整え、授業に参加して話を聞き、積極的に取り組もうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
前期	A 調理の基礎、食料自給率 ・計量 ・包丁の使い方 ・野菜の切り方 ・さつまいも栽培	・オリエンテーション ・大さじ、小さじ、すりきりペラ、計量カップの使い方 ・包丁の使い方・各部の名称 ・野菜の切り方 ・日本の食料自給率 ・さつまいもを植えるための畑の整備 ・秋に向けてさつまいもの植え付け	【知識・技能】 ・大さじ、小さじ、計量カップの使い方を理解している ・包丁の適切な扱い方を理解している ・料理に合わせて適切な野菜の切り方ができる ・日本の食料自給率について理解している 【思考・判断・表現】 ・調理に合わせて適切な調理器具を選択できている 【主体的に学習に取り組む態度】 ・説明を聞いた上で、自分で問題に取り組もうとしている ・意欲をもって実習に取り組んでいる ・授業の振り返りを積極的に行っている	○	○	○	12
	B 日本の食文化 ・日本の郷土料理(調べ学習)	・日本の食文化についての調べ学習、ポスター作成、発表、投票で選ばれた料理の調理	【知識・技能】 ・地方による食文化の違いを理解している ・地域による料理の成り立ちを理解している 【思考・判断・表現】 ・調べた内容をわかりやすくまとめて発表できている 【主体的に学習に取り組む態度】 ・説明を聞いた上で、自分で問題に取り組もうとしている ・意欲をもって実習に取り組んでいる ・ポスターを期限内に完成させている	○	○	○	12
	C 日本の食文化 ・だしの取り方 ・日本の郷土料理	・和風だしの取り方 ・すいとん汁の調理 ・日本の郷土料理についての調べ学習、ポスター作成、発表、投票で選ばれた料理の調理 ・日本の食文化を代表するメニューの調理実習(手打ちうどん、魚の献立、など)	【知識・技能】 ・和風だしの取り方を理解している ・地域による郷土料理の成り立ちを理解している 【思考・判断・表現】 ・調べた内容をわかりやすくまとめて発表できている 【主体的に学習に取り組む態度】 ・説明を聞いた上で、自分で問題に取り組もうとしている ・意欲をもって実習に取り組んでいる ・ポスターを期限内に完成させている	○	○	○	15
後期	D 災害時の食生活	・災害時の調理事情 ・ポリ袋炊飯、調理実習	【知識・技能】 ・災害時の調理について理解している 【思考・判断・表現】 ・災害時の食生活について、自分で工夫して作ることができる 【主体的に学習に取り組む態度】 ・意欲をもって実習に取り組んでいる	○	○	○	6
	E 地産地消 ・自家栽培したさつまいも料理	・春に植えたさつまいもを収穫して調理をする ・さつまいもご飯、豚汁の調理	【知識・技能】 ・さつまいもの調理性について理解している ・地産地消の大切さについて理解している 【思考・判断・表現】 ・調理に合わせて適切な調理器具を選択できている ・地産地消がなぜ大切なのか考えをまとめることができる 【主体的に学習に取り組む態度】 ・説明を聞いた上で、自分で問題に取り組もうとしている ・意欲をもって実習に取り組んでいる ・授業の振り返りを積極的に行っている	○	○	○	8
	F 世界の食文化 ・中国 ・西洋 ・タイ、インド	・洋食の調理実習 ・中華の調理実習 ・エスニックの調理実習 ・菓子の調理実習 ・世界の食文化についての調べ学習、新聞作成、発表、投票で選ばれた料理の調理	【知識・技能】 ・国による食文化の違いを理解している ・地域による料理の成り立ちを理解している 【思考・判断・表現】 ・調べた内容をわかりやすくまとめて発表できている 【主体的に学習に取り組む態度】 ・説明を聞いた上で、自分で問題に取り組もうとしている	○	○	○	15

		<ul style="list-style-type: none"> ・ 組もうとしている ・ 意欲をもって実習に取り組んでいる ・ 新聞を期限内に完成させている 					
G	行事食 <ul style="list-style-type: none"> ・ クリスマス ・ 正月 ・ バレンタイン 	<ul style="list-style-type: none"> ・ プッシュドノエルの調理実習 ・ 雑煮の調理実習 ・ ブラウニーの調理実習 	【知識・技能】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 行事食の歴史や意味を理解している ・ 卵の調理性について理解している ・ チョコレートの調理性について理解している 【思考・判断・表現】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 調理に合わせて適切な調理器具を選択できている 【主体的に学習に取り組む態度】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 説明を聞いた上で、自分で問題に取り組もうとしている ・ 意欲をもって実習に取り組んでいる ・ 授業の振り返りを積極的に行っている 	○	○	○	10
						合計	78

東京都立世田谷泉 高等学校 令和7年度 教科： 家庭 科目： 住生活

教科： 家庭 科目： 住生活 単位数： 2 単位

対象年次・講座： 1~4 年次 ① ② ③ ④

教科担当者： ①谷口としえ ②座喜味成子 ③松山葵 ④

使用教科書： (なし)

教科 家庭 の目標：

【知識及び技能】 人間の発達と生活の営みを総合的に捉え、生活を主体的に営むために必要な内容を理解し、技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 生活の中から問題点を見出して課題を設定し、解決策・実践・考察を経てその課題を解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

科目 住生活 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
ライフステージに応じた住生活の特徴、防災などの安全や環境に配慮した住居の機能について理解しているとともに、適切な住居の計画・管理に必要な技能を身に付けている。	住居の機能性や快適性、住居と地域社会との関わりについて問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、住生活と住環境について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分の家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとして

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
前期	A. 地域学習 【知識及び技能】 パソコンを使って検索したり、フィールドワークの行動計画を立ててくる。 【思考力、判断力、表現力等】 調べたことをワークシートにまとめ、発表する。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な人々と協働し、課題解決に主体的に取り組ませる。	【指導事項】 パソコンを使った調べ学習やフィールドワークにより、学校周辺施設や環境について知る。調べたことやフィールドワークで知り得たことを1枚のシートにまとめる。また、他者の発表や掲示物から学習をより深める。 【教材】 ワークシート、パソコン等 【一人1台端末の活用】 学校周辺施設についてパソコンで調べ、「検索」「情報収集」の力をつける。	【知識・技能】 パソコンを使った調べ学習やフィールドワークを行う為に必要な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 調べたことや集めた情報をまとめ、自分なりの表現でワークシートにまとめることができている。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業記録に学習の振り返りと今後の課題などが明記できている。自己の学習に対して定着の確認と今後の課題の把握がなされている。	○	○	○	18
	B. 住居を快適にする制作実習 ・クリスマススワッグ ・廃油で作る石鹸 【知識及び技能】 制作過程を理解し、制作に必要な技術を体験的に身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 作品例を観察したり、制作で取り扱う材料の特性を知り、それらを使って自分なりに表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な人々と協働し、課題解決に主体的に取り組ませる。	【指導事項】 制作物の作り方や取り扱う材料の特性を提示し、制作物に取り組ませる。 【教材】 ・クリスマススワッグ：学校内の植栽、リボン、針金など ・廃油石鹸：廃油、石鹸のもと、シリコンモールド 【一人1台端末の活用】 制作物の作品例や取り扱う材料の特性や特徴を調べさせる。	【知識・技能】 制作過程を理解し、制作に必要な技術を体験的に身に付けている。 【思考・判断・表現】 作品例を観察したり、制作で取り扱う材料の特性を知り、それらを使って自分なりに表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業記録に学習の振り返りと今後の課題などが明記できている。自己の学習に対して定着の確認と今後の課題の把握がなされている。	○	○	○	17
後期	C. インテリア（講義と実習） ・整理整頓 ・掃除 ・カラーコーディネート ・インテリアコーディネート 【知識及び技能】 快適な住居を自分でコーディネートし、管理できる技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 インテリアに関して体験的に学習したり、有資格者による講演の中から得た知識を使って自分なりに表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な人々と協働し、課題解決に主体的に取り組ませる。	【指導事項】 有資格者による講演や体験的な実習を通してインテリアについて学習する。 【教材】 ・整理整頓：ワークシート ・掃除：洗剤、掃除用具 ・カラーコーディネート：有資格者による講演 ・インテリアコーディネート：有資格者による講演 【一人1台端末の活用】 パワーポイントの使用とチームスのフォームズによる課題提出	【知識・技能】 快適な住居を自分でコーディネートし、管理できる技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 インテリアに関して体験的に学習したり、有資格者による講演の中から得た知識を使って自分なりに表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業記録に学習の振り返りと今後の課題などが明記できている。自己の学習に対して定着の確認と今後の課題の把握がなされている。	○	○	○	20
	D. マイルーム制作 【知識及び技能】 今まで学習した内容を総合的に用いて理想の部屋の模型（1/50縮小）を制作する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 今まで学習した内容を総合的に用いて理想の部屋の模型（1/50縮小）を自分なりに表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な人々と協働し、課題解決に主体的に取り組ませる。	【指導事項】 今までの学習の中で取り込ませたいポイントを押さえさせながらマイルームの制作をさせる。 【教材】 マイルームの枠組みキット、布、紙粘土、ワイヤー、グリーン造花、ボンド、木材など 【一人1台端末の活用】 パワーポイントの使用とチームスのフォームズによる課題提出	【知識・技能】 今まで学習した内容を総合的に用いて理想の部屋の模型（1/50縮小）を制作する技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 今まで学習した内容を総合的に用いて理想の部屋の模型（1/50縮小）を自分なりに表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業記録に学習の振り返りと今後の課題などが明記できている。自己の学習に対して定着の確認と今後の課題の把握がなされている。	○	○	○	23

						合計	
						78	

東京都立世田谷泉 高等学校 令和7年度 教科： 福祉 科目： 社会福祉

教科： 福祉 科目： 社会福祉 単位数： 2 単位

対象年次・講座： 2～4 年次 ① ② ③

教科担当者： ①秋田陽子 ②保坂睦恵 ③太田礼子

使用教科書： (なし)

教科 福祉 の目標：

- 【知識及び技能】 高齢者や障がいのある人々など共に支え合って生きていることの意義について理解を深め、福祉に関わる技能を身に付け
- 【思考力、判断力、表現力等】 福祉の視点から問題点を見いだして課題を設定し、解決策・実践・考察を経てその課題を解決する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて主体的に創造しようとする実践的な態度を涵養する。

科目 社会福祉 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
社会福祉に関する知識を理解する。基本的な看護・介護の技術を身に付ける。	社会福祉について課題をみつけ解決しようとすることができる。	必要な準備を整え授業に参加し、意欲的に取り組もうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
前期	A 障がい者について知る ・視覚障がい者について理解する。 ・車椅子の動かし方について理解する。 ・自助具の目的、使い方を理解する。 ・マヒがある場合の着替え方法を理解し、適切に補助ができる。	・視覚障がいの疑似体験 ・ガイドヘルプ実習 ・車椅子の介助実習 ・自助具の使い方 ・片マヒの場合の着替え実習 ・福祉用具の使い方	【知識・技能】 ・視覚障がい者について理解しており、適切な補助ができる ・車椅子の動かし方について理解している ・自助具の使い方を理解している ・マヒがある場合の着替え方法を理解し、適切に補助ができる ・福祉道具の使い方を理解している 【思考・判断・表現】 ・障がいに合わせて適切な補助ができる 【主体的に学習に取り組む態度】 ・説明を聞いた上で、自分で問題に取り組もうとしている ・意欲をもって実習に取り組んでいる ・授業の振り返りを積極的に行っている	○	○	○	16
	B 高齢者について知る ・高齢者の食事で気をつけることを理解する。 ・レクリエーションの目的や方法を理解する。 ・認知症について理解する。 ・高齢者の接し方について理解する。	・高齢者の食事 ・レクリエーションについて ・認知症についての理解	【知識・技能】 ・高齢者の食事について理解している ・レクリエーションの方法を理解している ・認知症について理解している 【思考・判断・表現】 ・高齢者の接し方について考え、行動できている 【主体的に学習に取り組む態度】 ・説明を聞いた上で、自分で問題に取り組もうとしている ・意欲をもって実習に取り組んでいる ・授業の振り返りを積極的に行っている	○	○	○	16
	C 福祉の仕事について知る ・福祉施設について理解する。 ・高齢者施設について理解する。 ・福祉の職業について理解する。	・福祉施設について ・高齢者施設について ・福祉の職業について	【知識・技能】 ・福祉施設について理解している ・高齢者施設について理解している ・福祉の職業について理解している 【思考・判断・表現】 ・福祉の仕事について考え、自分なりの考えを持つことができる 【主体的に学習に取り組む態度】 ・説明を聞いた上で、自分で問題に取り組もうとしている ・意欲をもって実習に取り組んでいる ・授業の振り返りを積極的に行っている	○	○	○	6
後期	D ベッドでの介護について知る ・ベッドメイキングについて理解し、適切に行うことができる。 ・体位交換・変換について理解し、適切な方法を行うことができる。 ・安楽な姿勢について理解する。	・ベッドメイキング実習 ・体位交換実習 ・体位変換実習 ・安楽な姿勢についての理解	【知識・技能】 ・ベッドメイキングについて理解し、適切に行うことができる ・体位交換・変換について理解し、適切な方法を行うことができる ・安楽な姿勢について理解している 【思考・判断・表現】 ・どのような声掛けをするのが適切か考えて行動できている 【主体的に学習に取り組む態度】 ・説明を聞いた上で、自分で問題に取り組もうとしている ・意欲をもって実習に取り組んでいる ・授業の振り返りを積極的に行っている	○	○	○	18
	E 衣食住の介護について知る ・衣服着脱について理解する。 ・食事の介助について理解する。 ・嚥下食について理解する。 ・清拭について理解する。 ・オムツや便尿器の使い方を理解する。	・衣服着脱実習 ・食事の介助について理解する ・嚥下食実習 ・清拭 ・オムツ、便尿器実習	【知識・技能】 ・衣服着脱について理解し、適切な方法がとれる ・食事の介助について理解している ・嚥下食について理解している ・清拭について理解している ・オムツや便尿器の使い方を理解している 【思考・判断・表現】 ・どのような声掛けをするのが適切か考えて行動できている 【主体的に学習に取り組む態度】 ・説明を聞いた上で、自分で問題に取り組もうとしている ・意欲をもって実習に取り組んでいる ・授業の振り返りを積極的に行っている	○	○	○	16

<p>F 移乗について知る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車椅子の動かし方について理解する。 ・マヒがある場合の補助を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ベッドから車椅子への移乗実習 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車椅子の動かし方について理解している ・マヒがある場合の補助ができる <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障がいに合わせて適切な補助ができる <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・説明を聞いた上で、自分で問題に取り組もうとしている ・意欲をもって実習に取り組んでいる ・授業の振り返りを積極的に行っている 	○	○	○	6
						合計
						78

東京都立世田谷泉 高等学校 令和7年度 教科： 福祉 科目： 点字

教科： 福祉 科目： 点字 単位数： 2 単位

対象年次・講座： 2～4 年次 ① ② ③

教科担当者： ①秋田陽子 ②成岡美和 ③太田礼子

使用教科書： (G-10とマナブくんの点字教室)

教科 福祉 の目標：

【知識及び技能】 高齢者や障がいのある人々など共に支え合って生きていることの意義について理解を深め、福祉に関わる技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 福祉の視点から問題点を見いだして課題を設定し、解決策・実践・考察を経てその課題を解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて主体的に創造しようとする実践的な態度を身につける。

科目 点字 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
点字の基礎的な知識を理解し、点字を読んだり、書いたりすることができる。	視覚障がい者の生活を理解し、自分と違う状況にある人が持っている困りごとを想像し、自分にできることは何かを考え、表現することができる。	授業に必要な準備を整えて授業に参加し、課題に積極的に取り組もうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態			配当 時数
前期	(1) 点字の読み方・書き方 ・点字の基礎的な知識を理解し、点字を読んだり、書くことができるようになる。	・点字の歴史と仕組み ・50音と表音文字の特徴 ・分かち書き ・濁音等の表記 ・数字表記 ・アルファベット表記 ・点字用紙、点字器の使用法	【知識及び技能】 点字の基礎的な知識を理解し、点字を読んだり、書いたりすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 点字のルールを理解し、文章を書ける。 【学びに向かう力、人間性等】 授業に必要な準備を整えて授業に参加し、課題に積極的に取り組もうとしている。	○	○	○	24
	(2) 視覚障がい者理解 視覚障がい者の生活を理解し、自分と違う状況にある人が持っている困りごとを想像し、自分にできることは何かを考える。	・講師の話し ・VTR視聴	【知識及び技能】 視覚障がい者の生活を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 自分と違う状況にある人が持っている困りごとを想像し、自分にできることは何かを考え、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 授業に必要な準備を整えて授業に参加し、課題に積極的に取り組もうとしている。	○	○	○	20
	(3) 点字の模様づくり 点字や物を使用し、手で触ることで模様を表現することができる。	点字を使用し、模様を表現する	【知識及び技能】 点字で模様を表現する方法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 手で触ることで形を表現する方法を考え、工夫することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 授業に必要な準備を整えて授業に参加し、課題に積極的に取り組もうとしている。	○	○	○	8
後期	(4) 点字名刺、手紙 点字器で名前や文章を正しく書くことができる。	・点字で名刺を作る ・点字で手紙を書く	【知識及び技能】 点字の基礎的な知識を理解し、点字を読んだり、書いたりすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 点字のルールを理解し、文章を書ける。 【学びに向かう力、人間性等】 授業に必要な準備を整えて授業に参加し、課題に積極的に取り組もうとしている。	○	○	○	10
	(5) 点字付き絵本作り 絵本の文章を点字で書くことができる。	点字付き絵本作り ・分かち書き ・点訳	【知識及び技能】 点字の基礎的な知識を理解し、正しく点訳することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 点字のルールを理解し、文章を書ける。 【学びに向かう力、人間性等】 授業に必要な準備を整えて授業に参加し、課題に積極的に取り組もうとしている。	○	○	○	16

